

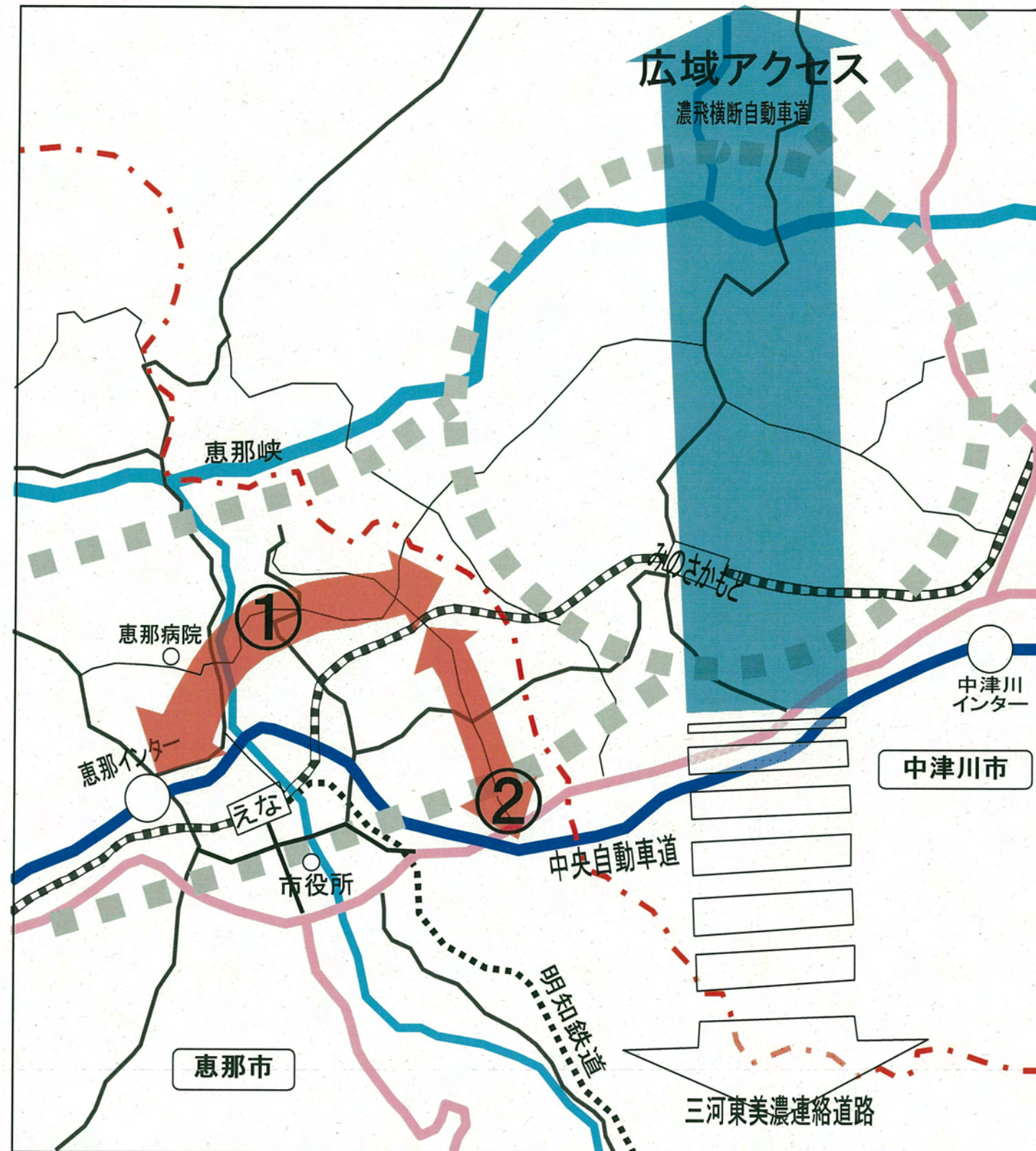
基盤整備グループ意見一覧

資料 2

分 類	具体的な路線整備	まちづくり関連	リニア駅へのアクセス	広域アクセス	移住者の受入れ	その他
第 1 回会議の意見	○長島奥戸線(銀の森や川上屋前)の朝晩は交通量が多い。 ○長島奥戸線は拡幅でいいのではないか。河鹿橋から恵那 IC は拡幅だけでなく改良が必要。 ○東濃 5 市で駅北が整備されていないのは恵那のみ。駅北へすんなり入れる道路改良が必要。 ○恵那 IC の出入口の改良が必要 ○岡瀬沢の農道を基幹路線にするといい ○都市計画道路・一色神の木線の整備に合わせ駅北の整備が必要。これにより駅前と駅北を結び、JR 線より南側からリニア駅へ向けてのアクセス道を考えることが必要。	○大井町では地域でリニアを活用したまちづくりを考えようとしている。 ○各地域協議会へリニアを活用したまちづくり案の意見を聞く。 とりまとめはリニアまちづくり構想市民委員会 ○中津川市は基盤整備がいろいろとあり大変だが恵那市は整備よりもブランド力をあげることが必要。 ○開発も必要だが、守るものは守る必要もある(農地など)	○リニア駅までのアクセスは大事 ○坂本に向かう県道は中山道なので、拡幅などは行わず、保存すべき道。この県道のバイパスを造る必要がある。 ○リニア駅の位置で駅へ向う道が北側からか南側からかが変わる。 ○北側ルートは必ず必要ではないか。(中津川市内はどうなるか分からないが) ○恵那峡 SA にスマート IC を設置するといい ○中心市街地と新駅を結ぶことも必要 ○両市の中心市街地への誘導は必要	○豊田地域と恵南を結ぶことを考える(418 号や豊田明智線など) 広域のアクセスと市街地のアクセスは別に考える。	○協力隊の人と話す機会がありいろいろと聞いた。空気や人の良さをトータルで考えるとお金に代えられないそう。 ○地元の人はこれら自然環境などの「良さ」が見えていないと思う。 ○東京からの移住者を受け入れるのはいいが、「緑・水・空気」を大切にすることが必要。 ○東京になく田舎にしかないもの「土の上に住む」を PR するといい。 ○車両基地の従業員などは東雲橋を活用し笠置地区へ誘導するといい	
第 2 回会議の意見	○雀子ヶ根～岡瀬沢(大井町 101 号線)の改良が必要ではないか。	○既存施設を活用するということでは串原のささゆりの湯を活用してはどうか。温泉施設単体でなく周辺施設を含め一体的に考えるといい。「湯治」的な利用も面白いのでは。 ○道路整備を考える時に景観の保全も必要。恵那の特色を生かして整備していく必要あり。例えば宅地の間に緑を置くなど。 ○現役で働く人と、少しのんびりした生活を送る人の棲み分けも必要。 ○交流人口を増やすことが大事。これは人間関係を築くこと。いずれは移住してもらうような関係ができるといい。 ○ログハウスなどをセルフビルドするのもいい。地元材でできるとなといい。	○恵那峡サービスエリア近隣に「ハイウェイオアシス」を設置するといい。 ○「中山道は保存する」ということだったが、さらに整備を進める必要はないか。道を残すということは大事。奈良井宿などのようにならなくてもても現在の風景を保存していくことが大事。都市計画道路になっているので他の場所に計画するようなことも考えていかなければいけない。 →大井町でまちづくり組織を立ち上げ別に考える。	○単にリニア駅と他地域を結ぶということではなく、沿道の活用を考えることが大事。 ○移住者の宅地開発という視点からでは、都会と同じような画地割でなく、余裕を持った大きな画地で開発するようなことができるのが恵南地区だと思う。	○リニアに関わる移住者の住まいを大井・長島の街中だけで考えるのではなく市全体で考え、ゾーニングしていくことが必要。	○恵南での開発では例えば宿泊施設。ルートインのようなものでなく風景にあったもの。農家民宿など特色あるものが必要。 ○少子化の時代なので海外からの移住も視野に入れて国際的な大学や技術を学ぶ場所を誘致できるといい。 ○ふるさとへ帰る人たちも含め、受け入れ側としての体制を整えることが必要。ふるさととは心のよりどころ。行政と協力して行政からの支援とうまく絡めて進めるのが必要。行政では縦割りでの施策が多いので横断的なつながりが必要。施策やサービスをパッケージにして提供する ○JR 武並駅については 418 号に近づけて駅周辺整備も含め考えるといい。

基盤整備グループ

市街地基盤整備イメージ



■広域アクセスについて

- ・「濃飛横断自動車道」
- ・「三河東美濃連絡道路」構想
- ・国道418号や県道豊田明智線を活用

■市街地の基盤整備について

- ①恵那 IC から中津川市へ向けた沿道利用できる道路を検討
 - 国道19号以外の中津川市との道路（北ルート）
 - ⇒市境から新駅へのアクセスは中津川市とすり合わせが必要
 - ⇒恵那インターチェンジ出入口の改良が必要
 - ⇒恵那峡などへの観光施設へ誘導するための役割
- ②恵那峡サービスエリアにスマートインターチェンジ設置を検討
 - スマート IC から北ルートへ誘導する道路
 - ⇒市街地を避けた中津川市北部・下呂方面への誘導
 - ⇒恵那峡などへの観光施設へ誘導するための役割

■その他

- ・美乃坂本駅へ向かう県道「苗木恵那線」は中山道でもあるため保存すべき
- ・市民生活の利便性向上のため、JR恵那駅北側の整備が必要
- ・道路整備では景観保全も必要。恵那の特色を生かして整備していく必要あり
- ・単にリニア駅と他地域を結ぶということだけでなく、沿道の活用を考えることが大事
- ・移住者の住まいは市全体で考え、ゾーニングしていくことが必要
- ・「緑・水・空気」を大切にする
- ・開発も必要だが、守るものは守るべき（農地など）
- ・交流人口を増やすことが大事

■メンバー

◎市川美彦 伊藤 誠 小坂順次 牧野倫太郎 山本好作